

御霊八幡神社



てを合あわせ
おまいりしよう
かみさまに

御霊八幡神社とは

藤原氏と因縁深い井上内親王を祀っています。**無実の罪により殺された井上内親王**のたたりをなくすために、**桓武天皇**の指示で、寺と神社を建て、この霊を慰めました。

これにより災いがおきることはなくなり、最初は崇りの神でしたが、祀られたことで御霊となり、**国や宇智郡を守る神**となりました。



井上内親王の御陵（宇智陵）



- は御霊神社の鎮座地 ちんざ
- は御霊本宮

五條市内 御領神社の鎮座地

井上内親王について

井上内親王は、光仁天皇と結婚し、45歳という高齢で男の子（他戸親王）をもうけます。次の天皇を誰にするかを争う中で、山部親王を皇位につけようとする藤原百川らの陰謀のため、母と子は都を追われ幽閉されました。**その幽閉されていた地が今の奈良県五條市でした。**

その後、井上内親王・他戸親王は、4月27日、同じ日に亡くなりました。井上内親王は、60歳で、他戸親王は、15歳でした。**井上内親王の、怨みはとても大きなものでした。そして、五條にたたりが起きたと言われています。**

感想

この御霊八幡神社のことを調べて、五條には、このような歴史（文化）があると知って、井上内親王のたたりを無くすために御霊八幡神社を建てたということがわかりました。そして、今は、五條市を守る神様なので、ぼくは、これからも楽しく過ごしたいです。この御霊八幡神社のことを調べていると、御霊八幡神社にお参りをしようと思いました。みなさんも御霊八幡神社のことを調べて見てください！

作成者 T.C